

2024/1/15 (月)

朝の礼拝

聖書 イザヤ書 40編 3-4節 (旧約聖書1123頁)

呼びかける声がある。

主のために、荒れ野に道を備え

わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。

谷はすべて身を起こし、山と丘は身を低くせよ。

険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。

### 広い道

静岡市内は平地が広がりますが、日本は約70%が険しい山岳地帯です。ですからほとんど人たちは約30%の平野で生活しています。でも農業や漁業をするお年寄りたちは海の近くや山間部に住んでいます。能登半島地震で孤立した地域が避難を続けられないのもそういう理由です。

私たちはそうした自然環境の中で文化を育んできました。例えばお寺の多い京都は「八百八寺」、大坂（大阪）は川が多く「八百八橋」、町が密集している江戸（東京）は「八百八町」と言いました。実は東京は平野にありますが、海沿い、山手線の内側はアップダウンが多く、坂の町とも言えます。

聖書の世界（現在のイスラエレル、パレスチナ地区）も「地球の裂け目」と呼ばれています。北はガリラヤ湖、南は死海、その間をヨルダン川が流れています。しかも湖も川も海拔より200mから400mも低く、人工衛星で上空から見るとその地域だけ地球が南北に裂けて見えるのです。

人間は厳しい自然環境でたくましく生きて、繁栄と文化を広げました。しかしどうして争いと悲劇を繰り返し、権力やお金を持つ強い者が弱い立場の人たちを支配し、抑圧する社会を止めようとしないのでしょうか。私たちがこの世で最も小さくされた人たちに関心を寄せる広い道を歩めることを祈りましょう。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたは「谷はすべて身を起こし、山と丘は身を低くせよ」と言われました。私たちが繰り返す誹謗中傷、偏見、差別、抑圧の愚かさと悲しみ、格差と分断を覚え懺悔します。どうか互いに慰め、励まし合う広い道を共に歩むことができますようにお導きください。ことに能登半島地震によって被災されている方々に、必要な支援と希望が与えられますように祈ります。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン